

- 放送日 10月22日(火)、10月29日(火)
- テーマ 「工業技術総合センターの業務紹介と成果発表会のお知らせ」
- 出演者
工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 飯島 和貴子 技師
- 聞き手とのやりとり（概要）

Q1 「工業技術総合センター」はどんなことをしているところでしょうか？

A1 「工業技術総合センター」は主に長野県内の製造業のものづくりの技術的なお手伝いをしています。高精度の分析装置や実験設備を揃えて、「新しい技術」の開発や「製品」の開発のお手伝い、つくられた製品の評価、あるいは製品のトラブル解決のための支援をしています。

Q1-2 製造業と一口で言っても、様々な分野がありますよね？

A1-2 「工業技術総合センター」は産業の基盤となる技術を中心に支援しており、県内4カ所に技術支援拠点があります。長野市に「材料技術部門」と「食品技術部門」、松本市に「環境・情報技術部門」、そして、岡谷市に「精密・電子・航空技術部門」があります。「精密・電子・航空技術部門」は、諏訪、南信地域に多い精密加工産業や、電子機器産業、めっきなどの表面処理を行う企業の方々に主に利用していただいています。

昨年度から「航空機産業」の支援も前面に出して、「精密・電子技術部門」から「精密・電子・航空技術部門」に名称を変え、さらに、飯田市に分室の「航空機産業支援サテライト」を設置しています。

Q2 今回は「成果発表会のお知らせ」ということですが。

A2 「工業技術総合センター」では、企業へのお手伝いだけでなく、センターの技術力向上のための研究活動も行っております。毎年、研究活動の成果や企業と共同で課題解決した事例などについて成果発表会を行っています。

本年は、11月に各技術部門で開催します。「精密・電子・航空技術部門」では11月6日(水)に開催します。

Q 3 内容を紹介してください。

A 3 成果発表会は、「研究等の成果発表」と「特別講演」の2本立てで開催します。

「成果発表」としては、例えば、「超音波振動切削によるアルミニウム金型表面の機能向上」というテーマで、金属を削るときに超音波をかけて削った表面に微細な模様をつける技術の提案があります。その他、機械加工、化学、電気・電子等の分野で17テーマの発表を行います。

「特別講演」では、「人手不足解消に役立つロボット活用技術の紹介 ～協同ロボットを中心とした事例と最新動向～」というテーマで、ファナック株式会社 ロボット国内セールス本部の主任、渡辺堅児さんにお話して頂きます。

是非、諏訪地域のみなさんにご聴講して頂きたいと思います。

Q 4 事前の申し込みは必要ですか？

A 4 配布資料の準備がありますので、事前にお申し込みいただけますと大変助かります。

「精密・電子・航空技術部門」の成果発表会は11月6日(水)です。

申し込みの締め切りは11月1日(金)としていますが、当日のお申し込みによる参加も可能です。

お問い合わせ、お申し込みは

工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 電話番号 0266-23-4000
までお願いします。

また、センターのホームページでもご案内しています。

Q 5 最後に一言お願いします。

A 5 工業技術総合センターのご利用と成果発表会の参加をお待ちしています。